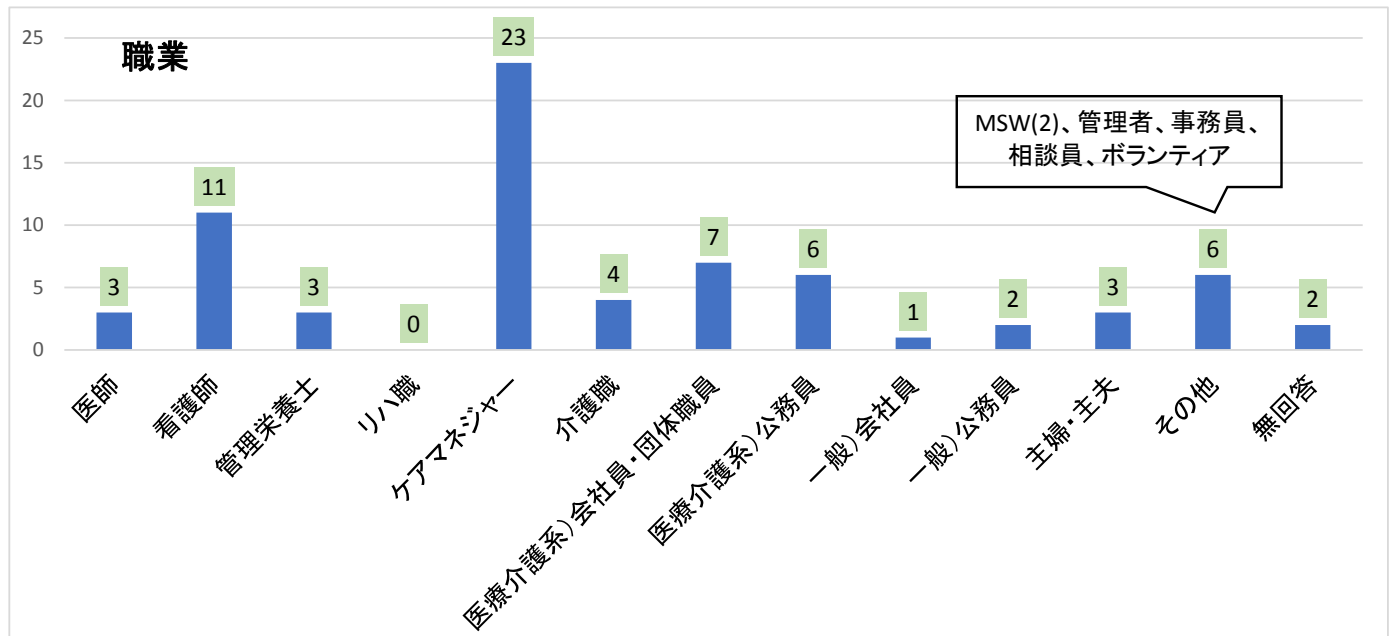
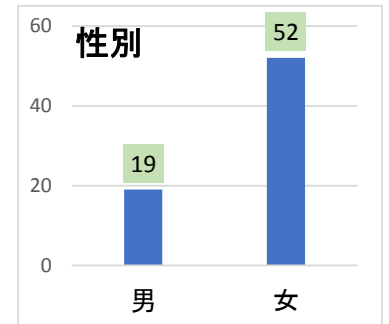
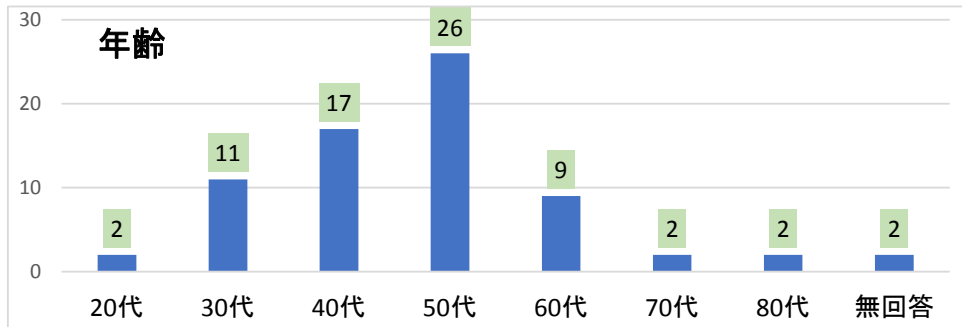


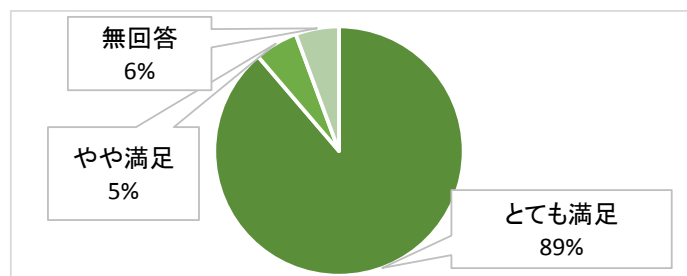
令和元年度 第3回緑区多職種連携研修会(R2.1.23)「ピア」上映会 アンケート集計結果

参加者 85人
アンケート回答者 71人
回収率 83.5%

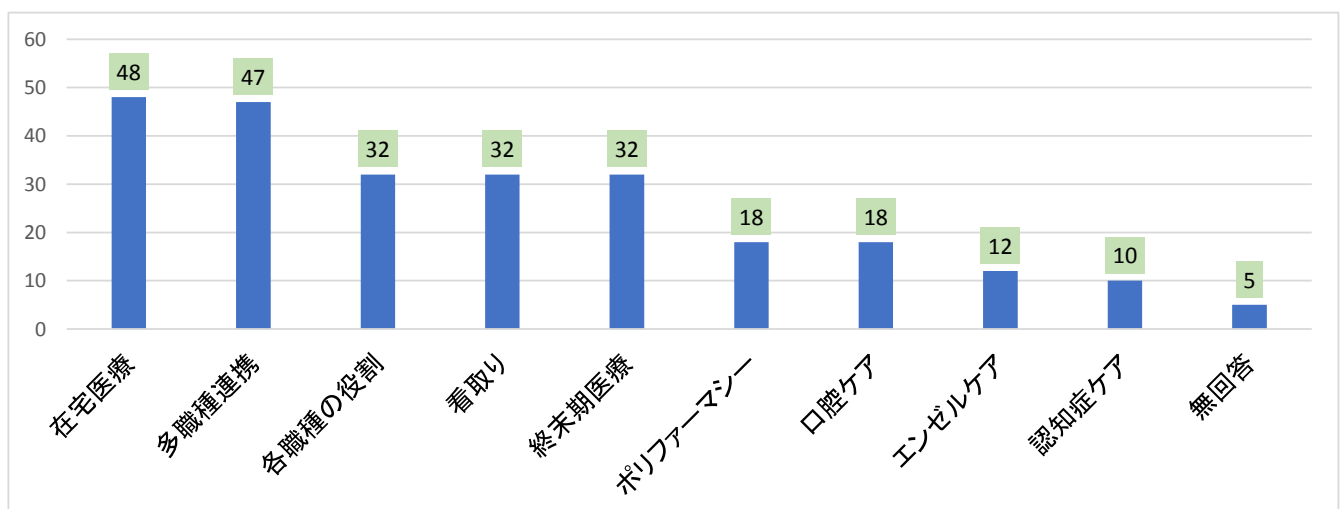
※「ピア」製作委員会作成のアンケートより抜粋



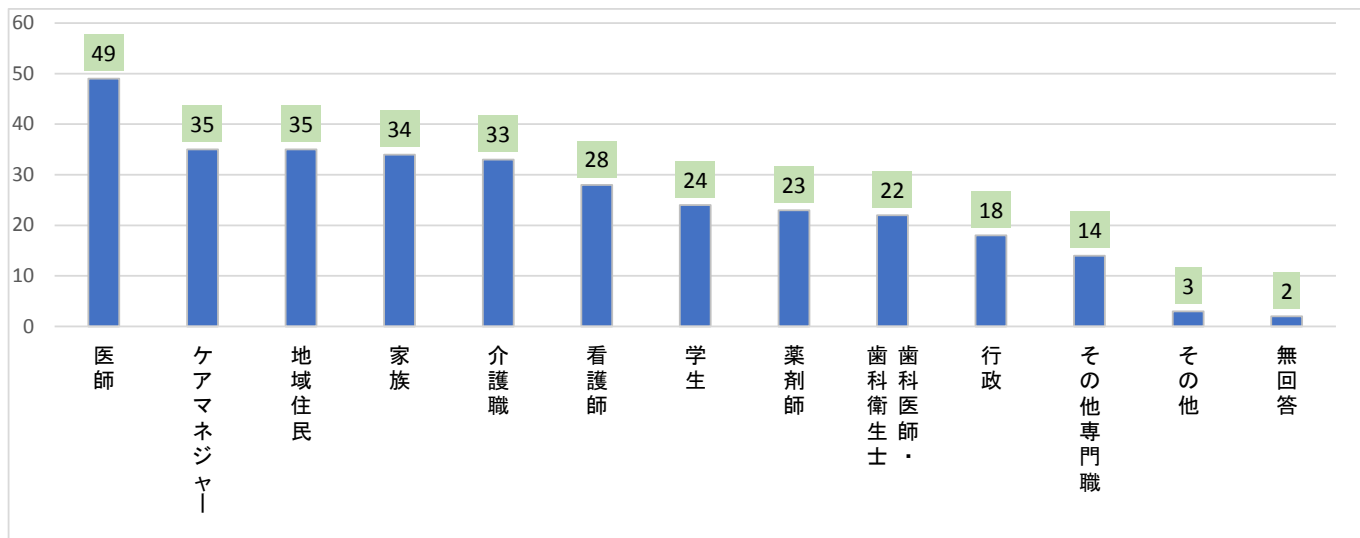
映画にどのくらい満足しましたか？



映画を見て勉強になったものがあれば教えてください。(複数選択可)(回答者65/71人)



「ピア」をどんな人に勧めたいですか？(複数回答可)(回答者69/71人)



映画を観ての感想、主催者へのメッセージ等(抜粋)

医師	前半のエピソードは自分のことと胸に刺さりました。後半は一つの理想の看取りとして心に留めておきます。顔見知りの皆さんと楽しい時間を過ごせました。 感動しました。最高の映画です。在宅医療は患者さんの人生そのものを全て受けとめる尊い仕事だと実感しました。人生観が変わる映画です。
看護師	とても素敵な映画でした。参加してよかったです。 改めて自分の役割を実感した。素敵な機会を作ってくださいありがとうございました。 携わる者として立ち位置、多職種連携し在宅を支えるチームの一員として関わっていきたいと思う。 在宅医療にとって何が大切かを強く感じさせられました。 在宅に関わる者として、現実問題に直面した内容でした。とてもよかったです。良い企画だと思います。チームケア必須のこの業界において、啓蒙が必要だと思いました。 人として最期まで生きることが在宅医療だと思いました。在宅だからできる事が沢山あるとこの映画を見て感じました。 改めて在宅医療とはと考えさせられました。一人だけでは何もできないので、チームでその人を支えるのは大事ななと思いました。 生きたいと思う気持ちは共感できます。自分を支える人、家族を大事にしたいです。「ありがとう」は初心にかえりました。 とても素晴らしかったです。感動しました。自身の義母を自宅で看取った時を思い出しました。チームケアに助けられたのです。
管理栄養士	とても在宅のことを考えるきっかけになりました。いろいろな職種がチームとなって支えることがまず大切だと思えました。 1人ではできないことが、仲間がいればできることが沢山あるということを学んだ。もっとたくさんの人に在宅医療を望んでほしいと思った。とても勉強になりました。
MSW	チームケアの大切さ。わかっているけれど各自の業務が多忙過ぎて、雑になりがちなのがしていたので、在宅・病院に関わらず大切にしていきたいと思った。とてもいい会でした。また機会があれば参加したいです。 理想の看取りだなと思いました。自分の父親の最後までこの映画を見て理想に近い形だったんだと実感できました。また観たいなと思いました。
介護職	自分の職をもう一度振り返りたいと思った。最期までその人らしくを心に留めたいと思います。ともすると流れ作業になりがちですが、振り返る良い機会をありがとうございました。 看取りについてとても興味があります。それを少し見られて嬉しかったです。自宅で最期を過ごせることは幸せだと思います。その手伝いをしたいと思っています。よかったです。勉強になりました。ありがとうございました。 家族として数年前に亡くなった母を思い出しました。その日まで悔いのない毎日を過ごす大切さ、後悔しない、後悔してもいい。私はデイサービスの職員ですが、在宅いいなと思いました。もっと多くの介護職員が見て、その人にとって何が大切かをわかってケアをしていきたいと思った。 リアリティがあり入り込みやすい。医療介護に携わる人は見るべき。とても良い内容で感動しました。またこのような機会があったら参加したい。
管理者	素晴らしい映画でした。職場で全員で見たいです。
事務員	とても感動しました。最期まで何が必要かを改めて考えさせられました。
相談員	初心に戻って明日から仕事をしていきたいと思った。こういったチームケアができればなと思いました。とても良かったです。うちの職員にぜひ見てもらいたいと思いました。

ケアマネジャー	ケアマネジャーとしてとても初心に戻れるピュアな映画の内容でした。また多職種それぞれの役割、関わり方の参考にさせて頂けると思いました。
	「生きるを支える」そんなケアマネジャーになりたいと思いました。地域で関わる医療従事者、介護職すべての人に観てもらいたいと思いました。明日からの一歩に繋がる映画でした。ありがとうございました。
	最後まで生きる。それを支えるピアの一員として、明日からまた頑張りたいと思いました。自分の役割に対し、今まで以上に前向きな気持ちを持つ機会になりました。ありがとうございました。
	死ぬまで生きるという言葉が胸をうちました。
	本人・家族の思い、要望を叶えられるようになりたいと思いました。
	患者さん、家族の思いを大切に、多職種皆で力を合わせることは素晴らしいと思いました。
	その人らしく生きるために何が出来るか…何を望んでいるのかを大切にしたい。チームケアがもっと職種の枠を超え、話し合える機会はとても良く、今後もどんどんそんな場を作れたらいいと思った。
	これぞ在宅…。家で旅立つという素晴らしい演出をこれからも頑張ります。その人らしさを大切にしたいと思いました。
	みんなの思いが一つになり、いろいろな支え方ができるんだと改めて思いました。
	連携をこんな風にできたら理想的だと思いました。CMが医師に話せる場があったらいいなと思います。
	利用者本位について、教科書ではなく本気で働けば働くほどその重みが伝わると思った。いい観客と見れたと思う。
	地域の医療がより身近になってほしいと思いました。
	お医者様の「患者に支えられている」という言葉に心強さを一番感じました。「ピア」の関係を体験したいと思った。在宅ケアを通して「人の生き方」を考えさせられました。「支えたい」と心から思いました。
	2回目ですが感動しました。
感動。みんなに勧めたいです。	
感動！現実にこんなチームで動きたい。	
(医療介護系) 会社員・団体職員	自分の仕事をより身近に感じる事ができた。
	本人・家族の笑顔。よりよく生きるためにチームでお手伝いするという原点に戻ることができました。映画をみてよかったです。
	ソーシャルワーカーとして改めて初心に戻れる気持ちになりました。
	とてもわかりやすい内容で参考になりました。
	高齢者の在宅医療のお話だけとっていたので、感情移入しやすい話で、とても感動しました。皆さんの笑顔のためにも、多職種連携は大切だと思いました。素敵な内容の映画を研修会の中で上映していただき有難うございました。
	在宅医療の現場での周りのサポートに本当に感動しました。生きるという意味を改めて感じました。
母が要介護4の認定を受け、現実在宅介護をしています。ケアマネさんや在宅医療、ナースの方、ドクターに来て頂きなんとか過ごしています。今回の上映で、胸につまる思いで、家族としてのケア、ピア(仲間)としての皆さんに支えていただき、また、明日から頑張ろうと勇気をもらいました。この上映会に参加でき、本当によかったです。ありがとうございました。	
(医療介護系) 公務員	初めて見ました。地域医療が連携して患者さんを第一に考え進めているそれぞれの姿に感動しました。その人らしく最後まで生きぬく…すばらしい言葉でした。
	感動しました。本人の思いをいかに汲み取っていくかが大切なことだと感じました。
	在宅介護、最後まで住み慣れた場所で過ごせる幸せをみんなで見守れる仕事って素晴らしいなと思いました。
	いろいろな角度から学びが多かったです。いつもの生活の現場で自分たちの役割ややりがいを考える機会となりました。ありがとうございます。素敵な映画を見せてくださる機会を作って下さりありがとうございました。
(一般) 公務員	ガンになった最悪のシナリオの中で、幸せに感じてもらったことはとても良かったと思えました。そのために協力して対応することは、とても価値のあることだと思えました。ありがとうございました。また機会があれば参加したいです。
主婦・主夫	非常に感動しました。生まれて死ぬことはワンセット。当たり前のことと頭では知っていても…。看取りは今他人事ではなく、身近にあること。生きることの大切さをしみじみと感じました。ありがとうございました。
	両親の介護のことを思い出しました。在宅医療の大切さ、皆さんの協力の必要がよくわかりました。
ボランティア	人間の尊厳というものを強く感じ、それを支える各種の専門職の方々の活躍が垣間見えて感動しました。